

「三寒四温」

おはようございます。

昨日は節分、今日は立春、確実に春は近づいてきていますね。今日は「三寒四温」についてお話ししたいと思います。

「三寒四温」とは、寒い日が3日ほど続くと、そのあと4日ほど温暖な日が続き、また寒くなるといったように7日周期で寒暖が繰り返される現象です。一般的に寒い日は晴れで、暖かい日は天気が悪いようです。もともとは、中国の北京北部の言葉のようですが、日本では、春が近づき、気候がだんだん暖かくなるという意味にも用いられています。

さて、日本の春の象徴とも言える「桜」、また、新校の名前の由来にもなっている隅田川の墨堤に咲く桜。桜の開花にはいろいろな説がありますが、よく積算温度が用いられます。元旦から数えて0 600度で開花とか、立春（今年は2月4日）から足して行って540度で開花といった具合です。これは、ある程度の目安のようですが、桜は、冬の風雪にも耐えながら、「三寒四温」を繰り返し、徐々に太陽のあたたかさをため込んでいっばいになったら花が咲きます。このことは、どんなに辛く大変なことがあっても、いつかは「桜のように花が咲く」といった人間の生き方にも通じることが日本人が桜の花を愛する由縁かもしれません。

先週の土曜日に、第1回目の閉校式の練習がありました。練習の心構えとして大久保先生からお話がありましたが、皆さんと先生方、そして保護者の方々の力を集結して、「向島中64年の集大成」となる閉校式を成功させましょう。そして、桜の花が咲く4月には、たくさんの新入生を迎え、夢と希望があふれる桜堤中学校が開校できるようにしていきましょう。

3年生は、先週には私立や都立の推薦試験が終わり、校長室には合格した生徒からの報告が届いてきています。これからいよいよ都立・私立の一般入試があります。最後の追い込みに努力するとともにインフルエンザや風邪に十分注意して、万全の態勢で臨んでください。

また、2年生は、明後日水曜日から2泊3日の宿泊行事「羽鳥湖スキー教室」があります。学年で立てた目的が達成できるように、そして、次年度の修学旅行へつなげることができるようにがんばってください。1年生は、先日行われた「鎌倉史跡巡り」の反省を生かし、新入生の模範となる先輩になれるように日々の学校生活を見つめ直してみてください。

以上で私のお話を終わります。